

# 日本進化学会 ニュース

Vol.20 No.3  
November 2019

## 目 次

- |    |                                                                                           |  |  |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| 1  | 日本進化学会 第21回札幌大会レポート<br>大会全体についての報告<br>荒木 仁志 (北海道大学)                                       |  |  |
| 4  | 大会シンポジウムレポート                                                                              |  |  |
| 9  | 2019年度学会賞等受賞者                                                                             |  |  |
| 15 | 第21回大会 口頭発表賞 最優秀賞 受賞記<br>トンボの黄色い体斑形成に關与する<br>分子基盤<br>奥出 絃太 (東京大学)                         |  |  |
|    | 第21回大会 学生ポスター賞 最優秀賞 受賞記                                                                   |  |  |
| 17 | ゲノム情報で探る<br>在来種ミツバチの進化<br>若宮 健 (東北大学)                                                     |  |  |
| 18 | 年縞堆積物と休眠卵で遡る<br>ミジンコ個体群定着の歴史<br>大竹 裕里恵 (東京大学)                                             |  |  |
| 19 | 肝臓の形態進化から<br>脊椎動物の進化を紐解きたい<br>太田 考陽 (静岡大学)                                                |  |  |
| 20 | 第14回みんなのジュニア進化学 ポスター賞<br>最優秀賞 受賞記<br>ホバリング飛行能力を持つ蛾<br>ハウジャク亜科の秘密に迫る<br>岡島 紗良 (岐阜県立岐山高等学校) |  |  |
|    | 追悼：梶智就 博士                                                                                 |  |  |
| 21 | はじめに<br>石川 由希 (名古屋大学)                                                                     |  |  |
| 22 | Tomonari Kaji 1982-2019<br>A. Richard Palmer (University of Alberta)<br>訳：宮下 哲人 (シカゴ大学)   |  |  |
| 28 | 梶智就の死<br>三浦 徹 (東京大学)                                                                      |  |  |
| 30 | ひこうき雲<br>塚越 哲 (静岡大学)                                                                      |  |  |
| 31 | 編集後記                                                                                      |  |  |
| 32 | 2018年度任意団体決算報告書<br>(2018年1月1日～8月31日)                                                      |  |  |
| 33 | 貸借対照表 (平成30年8月31日現在)                                                                      |  |  |
| 33 | 財産目録 (平成30年8月31日現在)                                                                       |  |  |
| 33 | 2018年度一般社団法人日本進化学会決算書<br>(2018年7月1日～2019年6月30日)                                           |  |  |
| 34 | 貸借対照表 (令和元年6月30日現在)                                                                       |  |  |
| 35 | 財産目録 (令和元年6月30日現在)                                                                        |  |  |
| 35 | 一般社団法人日本進化学会2019年度予算案<br>(2019年7月1日～2020年6月30日)                                           |  |  |

の特徴をもとに、肝臓における血液輸送や胆汁輸送が、脊椎動物の進化と共にどのように変化していったのかについて、研究していきたいと考えています。

最後になりましたが、今回このようなすばらしい賞を受賞できたのは、日々活発な議論をしていただいている静岡大学の塩尻先生および研究室のメンバー、そしてサンプルを提供してくださった様々な方々の協力があってこそだと思います。本当にありがとうございました。肝臓は機能も発生も非常に複雑で未知なことも多く、もしかしたら進化の研究に適した材料ではないのかもしれませんが、ですが、肝臓を専門に扱う研究室ならではの視点で研究することで、進化学においても何か新発見ができるように頑張りたいと思っています。それと同時に、肝臓学においても進化学的なアプローチによって医療などにも応用可能な新発見を目指しています。今後もこの賞に恥じぬよう研究に励んでいきますので、どうぞ皆さま学会などで見かけましたら、活発な議論をしていただけると嬉しいです。よろしくお願いします。

(編集担当：手島 康介)

第14回みんなのジュニア進化学 ポスター賞 最優秀賞 受賞記

## ホバリング飛行能力を持つ蛾 ホウジャク亜科の秘密に迫る

岡島 紗良(岐阜県立岐山高等学校)

たくさんの興味深い研究発表の中から、「第14回みんなのジュニア進化学 最優秀ポスター賞」に選ばれたことを大変嬉しく思います。本当にありがとうございます。

この研究は「スズメガ科ホウジャク亜科のことを知り尽くしたい!」という研究対象への愛から始まりました。研究の根幹にある、「ホウジャク亜科には、ホバリング飛行時に前脚を置く種と置かない種がいる」「昆虫であるホウジャク亜科と鳥類であるハチドリが、どちらも「く」の字の体勢でホバリング飛行を行っている」という発見は、今まで続けてきたスケッチから私が独自に得たものです。ホウジャク亜科を撮影するにあたって、ホバリング飛行を行っている場面になかなか出会えなかったり、天候や気温によって発生時期がずれ、研究計画と合わなくなったりと、生きている対象を研究することの難しさを思い知りました。しかし、研究を進めるたびに新しいことが分かり、次々に新たな疑問が生まれてくるので、今日まで楽しんで研究を行うことができました。

ポスター発表を聞きに来て下さった先生方からは、実際に大学で行っている研究内容に関連した視点から、様々な質問をしていただきました。昆虫を愛する先生も多くいらっしゃり、見たことのないような珍しい蛾の写真をたくさん見せていただきました。大好きな昆虫のことを、研究を最前線で行っている先生と話すことができた私は、本当に幸せ者だと思います。高校生である私を一人の研究者として話をさせていただいたことに感謝するとともに、研究者として生きていきたいと強く感じた時間でした。

私は高校三年生であるため、もう一度「みんなのジュニア進化学」でポスター発表することはできませんが、今度は大学生として、「日本進化学会」で研究発表をできるように頑張ります。

(編集担当：山道 真人)